

2020年8月28日

**荇田南2丁目の皆様へ**  
**KP(神奈川精神医療人権センター)便り⑫**

ヘイト幟旗を立て続ける行為に対しては、荇田南地区の住民の皆様からも戸惑いや怒りの声が私たちのもとに多く寄せられています。「同じ住民として恥ずかしい」「この地域にも以前から精神障害者が暮らしている。あの旗は許せない」などのご意見です。そうした皆さまのご自宅にまでチラシを毎回投函するのは心苦しいのですが、地域全体でこの深刻な問題と向き合うきっかけにさせていただけると幸いです。今回もKPメンバーの思いをご紹介します。

初めまして。私、堀合研二郎と申します。横浜市を拠点に活動する精神障害者です。精神障害者を日々サポートするピアスタッフとしての仕事に加え、精神科医や大学教授らが行う様々な研究への協力や、NHKをはじめとする多くのメディアへの出演・協力を続けています。私が受けている診断名は統合失調症。かつては精神分裂病と呼ばれていた病です。

今年5月以降、不定期ではありますが、主に金曜日に、皆様のお宅のポストにKP便りを投函させていただいております。「うざいなあ」と内心感じられているのではないかと思います。金曜の夜は、やはりテレビなどを見ながらまったりと過ごし、平和な時間を楽しみたい。そう思われて当然だと思います。私もそうです。面倒臭いことには関わりたくありません。

しかしそれにしても、ご自宅の前やご近所に悠然とはためく黄色い幟旗を眺めながら交わす晩酌の味とは、どのようなものなのでしょう？ 私たちには知る由もありません。

住民の皆様が繰り返しおっしゃるのは、グループホームヨットを運営する株式会社モアナケアに対する不満です。地域住民の皆様への説明不足は確かにあったのでしょうか。また、運営の仕方に不満があれば、ヨットの入居者を守るためにも、正直におっしゃっていただくべきだと私も思います。但し、適切なやり方をわきまえるべきだということも同時に思います。

なによりお伝えしたいのは、グループホームヨットに入居している私と同じ精神障害者たちには、なんの罪もないということです。彼らを傷つけるような言葉を用いてほしくありません。私たちを危険視しているかのような言葉を見たくはありません。

「子供たちの安全を守れ」「地域の安全を守れ」。一体なにから安全を守れと言っているのでしょうか？「運営反対」をそこまで声高に主張されるのは何故なのでしょう？モアナケアへの不満は口実であり、この地域が抱える別の深刻な理由があるように思えてなりません。

私たち精神障害者が危険なのかどうかについて調べた研究は、数多くあると言われております。犯罪の確率については、凶悪なものについては高いという研究もありますし、犯罪全般の確率については低いという研究もあります。暴力については、振るう対象を家族に限定して調べた場合には高いとも言われていますし、振るう対象を全てに広げれば低いとも言

われています。

ライシャワー事件をはじめとして、精神障害者の起こした凶悪事件は多くありますが、それらよりはるかに多くの凶悪事件を精神障害者ではない誰かが起こしています。

精神障害者が真に危険なものかどうかは結局のところよくわからない。私はそう思います。そんなことよりも大事なものは、私たちには住みたい所に住む自由と権利があるということです。

金曜の夜、心地良い夜風に当たりながら歩く荏田南2丁目の街並みに、私たちに傷つける言葉は不要です。地域の安全を願う皆様と同じように、私たちは心の安寧を願いたいのです。

速やかに旗を下ろしてください。

神奈川県精神医療人権センター（KP）

携帯 080-7295-8236（毎週月から金 13時～16時）